

環境制御技術等導入による施設野菜の生産力向上

県中農林事務所農業振興普及部

1 背景・ねらい

【対象】JA福島さくら野菜部会(きゅうり)(R1実績)

生産者数:103名、栽培面積:12.8ha

販売金額:約2.5億円

・きゅうりの栽培者数・栽培面積は年々減少

・資材価格の高騰により、施設導入が進まない。

・過去3年平均単収7.2t/10a(全体)

〃 13.4t/10a(半促成+抑制)



課題

- 不順天候下での生産量向上
- 高齢化でも対応できる增收技術の普及が必要

ねらい

- 環境制御技術の導入により生産量増加
- 施設栽培に踏み出す生産者を確保
- 産地としての供給体制の強化

きゅうりを
経営の柱とする
農家の育成

環境制御技術とは...

環境測定装置により施設内の気温などを計測して制限要因を明らかにするとともに、二酸化炭素発生装置や暖房機の稼働、換気の調節等により、きゅうりの生育に最適な二酸化炭素濃度や温度となるように制御する。

…生産量の增收が可能になる！



2 活動内容

環境制御技術の導入

①環境制御技術導入の課題解決

- ふくしまからはじめよう 攻めの農業技術革新事業(H28~30)
- 環境制御技術の収益性調査

②環境制御技術の導入推進

- 実証成果を活用したセミナーの開催による周知
- 県事業等による誘導



新規技術導入者の掘り起こしと技術習得支援

①環境制御技術新規導入者への技術支援

- 実証データの情報共有による早期技術定着支援

②新規栽培者の掘り起こし

- 県農業短大研修生、郡山市園芸振興センター研修生の研修中から就農計画検討など就農支援

③新規栽培者の育成

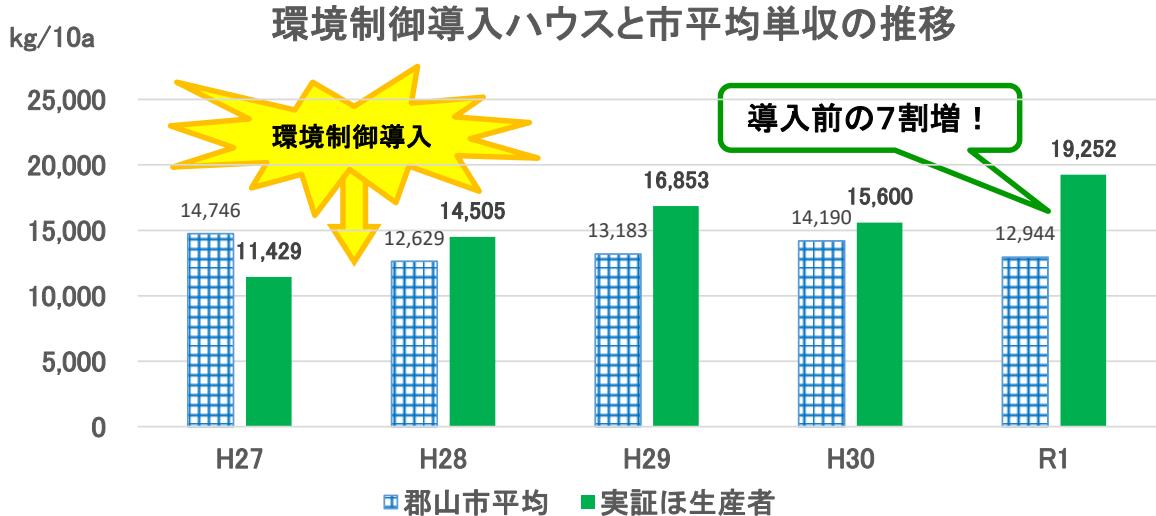
- 重点指導対象として定期巡回指導
- 施設化に伴う環境制御技術の導入推進



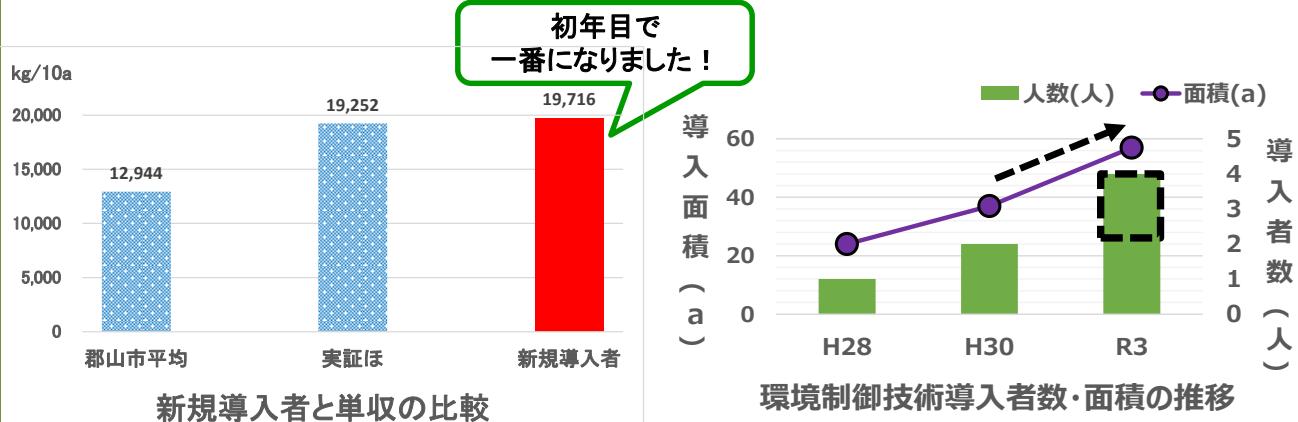
(新規導入者への栽培指導の様子)

3 活動成果

1.環境制御技術の導入 《H27:11,429kg/10a → R1:19,252kg/10a》



2.技術習得支援と新規栽培者の掘り起こし



技術を話し合える、仲間がもつと欲しいなあ！



郡山でも增收が可能な、良いモデルになりましたね！

4 課題・今後の方向性

- ・環境制御技術導入の拡大 → 高齢化の中での生産量拡大！
- ・新規就農者の継続的な確保、育成 → 産地の底力の強化！
- ・新規就農者等への環境制御技術の導入促進！ → 早期の経営安定
…環境制御技術導入者同士の技術研鑽が目標